

後期医療制度廃止へ1万1千人がいのち掲げ



後期高齢者
医療制度は

いまずぐ廃止！
安心の医療実現！
4.3 大集会IN東京

集会で採択 されたアピール

新しい政権が誕生して6カ月が過ぎました。「後期高齢者医療制度をいまずぐに廃止して」「社会保障費の削減をやめて」「いのちを守る政治の実現を」と願った私たち国民の声は、残念ながら届いていません。

私たちの運動は、生活保護の母子加算を復活させ、障害者自立支援法を廃止する方向に進ませました。しかし、後期高齢者医療制度廃止は4年後に先送りし、その範囲を65歳以上に拡大しようとしています。

私たちは、いのちが守られる政治、憲法25条に基づいた

国の責任で「いつでも、どこでも、だれでもがお金の心配なく、安全・安心の医療と介護が受けられる」社会保障の実現を願います。

後期高齢者医療制度はいまずぐ廃止して老人保健制度にもどすこと、公的医療の縮小、国民負担増につながる医療保険の一元化ではなく、窓口負担を軽減し、国と大企業の負担と責任で医療の充実、社会保障の充実を求めます。

今日の集会を機に後期高齢者医療制度はいまずぐ廃止し、安心の医療実現へさらに運動をひろげましょう。

2010年4月3日「後期高齢者医療制度は今すぐ廃止、安心の医療実現をめざす4・3大集会IN東京」

